

[科目名] 学習導入演習				[単位数] 2単位		[科目区分] アカデミック・コモン・ ベーシックス	
[担当者] 青山 直人 Aoyama, Naoto			[オフィス・アワー] 時間: 詳細は授業中にアナウンスします。 場所: 青山研究室			[授業の方法] 演習	
[科目の概要] <p>大学での学習に必要とされる読む力(分析的に文章を読解できる)と書く力(論理的な文章を書くことができる)を身につけることが、本演習の目的です。</p> <p>各自が興味・関心のあるテーマについて、問いを立て、文献・資料を調べ、事実に基づいた問いにたいする答えを出し、レポートを作成します。その過程において、問いの立て方、文献・資料の調べ方(図書館の利用、データベース検索の活用等)、レポートの構成の仕方、パラグラフの書き方、文献の引用・参考のルール(出典と注、参考文献の記載方法、盗用・剽窃の禁止)、要約の仕方などを学びます。</p>							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] <p>これまで感想文や入試のための小論文を書いた経験があると思います。ではレポートはどうでしょうか。大学では、講義内容の理解度を判断するために、レポートが課されることがあります。感想文・入試のための小論文とレポートには、いくつかの違いがあります。その違いに気づかず高校時代と同じように勉強し、レポートを作成しても、その努力が十分に発揮されません。まず、大学における学びを知り、大学で勉強するために必要な学びの方法を身につける必要があります。</p> <p>本講義により、基本的なレポートの書き方を身につけることが期待されます。</p> <p>今後4年間、レポートを作成することで、そのアカデミック・スキルは習熟されていきます。様々な答えのない問いに対して、事実に基づいた問いにたいする答えを導き出し、他者と建設的な議論をする。そして、新たな問いを発見し、より良い答えを導けるようになってほしいと思います。</p>							
[科目の到達目標] <ul style="list-style-type: none"> ・各自の興味・関心に応じて文献・資料を調査し、レポートのテーマを決めることができる。 ・調査内容(テーマの現状と課題)を簡潔にまとめることができる。 ・テーマから問いを設定できる(テーマを問いの形に絞り込むことができる)。 ・問いが決まったら、さらなる調査を行う。そして、事実に基づいた問いにたいする答えを主張することができる。 <p>以上をもとに、レポートを作成することができる。</p>							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3 ○	DP4	DP1	DP2	DP3	
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートへのコメントの文字を丁寧に書くようにします。 							
[教科書] <p>使用しない。適宜プリントを配布する。</p>							

<p>〔指定図書〕 石黒圭『論文・レポートの基本—この1冊できちんと書ける！（新版）』日本実業出版社、2024年。 小笠原喜康・片岡則夫『中高生からの論文入門』講談社現代新書、2020年。 戸田山和久『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHKブックス、2022年。 野矢茂樹『増補版 大人のための国語ゼミ』山川出版、2017年。</p>	
<p>〔参考書〕 河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会、2018年。 佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦編『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2020年。</p>	
<p>〔前提科目〕 なし。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業における課題と最終レポートをもとに総合的に評価する予定です。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 私たちは、人口減少・少子高齢化問題、社会資本の老朽化問題、格差問題(教育や医療の地域間格差、所得(賃金)格差や負担の世代間格差等)、財政問題、環境問題(気候変動問題や生物多様性の減少等)など様々な問題に直面しています。社会では、毎日、いろいろな事件や出来事が起きています。皆さんはどのようなことに関心を抱いていますか。自分の興味・関心のあるテーマについて、現状を調査し、問いを立て、文献・資料を深く読み込み、深く考える。そして、事実に基づいた根拠のもとづいて、問いにたいする自分なりの答えを導き出してほしいと思います。 授業内容でわからない箇所は質問してください。授業スケジュールは次のとおりになっています。ただし、受講者の課題の進捗状況によっては、スケジュールを変更することがあります。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし。</p>	
<p>授 業 ス ケ ジ ュ ー ル</p>	
<p>第1回</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 大学における学修の基礎 内 容: 授業の趣旨と内容の説明、高校と大学の違い、感想文・小論文・レポート・論文の違い。 教科書・指定図書</p>
<p>第2回 ～ 第3回</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 文章の要約 内 容: 文章を読む・書くためのトレーニングとして、課題文の要約を行う。 教科書・指定図書</p>

第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文献や資料を調べる(1)</p> <p>内 容: 図書館ガイダンスで、図書館の利用方法を学ぶ。各自の興味・関心にもとづいて文献や資料を調べる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文献や資料を調べる(2)</p> <p>内 容: オンライン文献データベースやレファレンスブックの利用方法を学ぶ。各自の興味・関心にもとづいて文献や資料を調べる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回 ～ 第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): テーマの設定</p> <p>内 容: テーマ設定の仕方を学ぶ。これまで調査した文献や資料をもとにレポートのテーマを設定する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 問いを立てる</p> <p>内 容: 問いの立て方を学ぶ。各自のテーマを絞り込み、問いを立てる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): アウトラインの作成</p> <p>内 容: レポートの基本的な文章構成とアウトラインの作成の仕方を学ぶ。最終レポートの仮アウトラインを作成する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 論証の仕方</p> <p>内 容: 論証とは何か。論証のパターンを整理し、論証の仕方を学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): パラグラフ・ライティング</p> <p>内 容: パラグラフとは何か。パラグラフの構造を理解し、パラグラフ・ライティングを学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 引用・参考のルール</p> <p>内 容: 文献・資料等の引用・参考のルールと盗用・剽窃などの禁止事項を学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回 ～ 第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 問いとアウトラインの再検討</p> <p>内 容: 中間レポートへのコメントを返却する。問いとアウトラインを再検討する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>期末レポート</p>